

架け橋期を通じて学びや生活の基盤を育み、持続可能な社会の創り手となる力の基礎を育むために

～日野町保学連携推進計画第3次改定に向けて～



日野町立日野学園校長

砂流 誠吾

1. 日野町の概要
2. 日野町保小連携推進計画（改訂版）
3. 架け橋期のカリキュラムの必要性
4. 架け橋期のカリキュラム開発の実際
 - (1) 架け橋期のカリキュラム開発会議での議論
 - (2) ワーキンググループでの取組
 - (3) 架け橋期のカリキュラムとスタートカリキュラム
5. 保育所と学校の連携
 - (1) 保育所・学校連絡協議会とその取組
 - (2) 所長・校長会
 - (3) その他
6. 本年度の取組の成果・課題
7. 次年度に向けて
～第3次日野町保学連携推進計画の策定

1. 日野町の概要

日野町の教育

《基本理念》

まちを愛し 未来を創る 人づくり

《教育目標》

ふるさとを愛し 心豊かに

たくましく羽ばたく 日野の子の育成

《めざす子ども像》

○ふるさと日野町を誇り、地域とつながり 未来を創る子ども

○夢や希望、目標に向かって、主体的に学ぶ子ども

○コミュニケーション力、豊かな人間性を持つ子ども

○心も体も健康で、たくましく生きる子ども

町の花「ツツジ」



町の木「スギ」



面積 133.98km²

人口 2,535人

世帯数 1,217世帯
(令和7年11月1日現在)



オリジナルキャラクター「しいたん」

※日野町HPより転載

ひのっこ保育所の概要

- (1) 保育所名 日野町立ひのっこ保育所
- (2) 所在地 鳥取県日野郡日野町津地690
- (3) 開所年月 平成17年4月
- (4) 保育の理念 自分らしく生き抜く力を持つかう
- (5) 児童数 40名 ※令和7年11月1日現在
- (6) 保育目標 思い切り遊べる子ども
自分や友だちを大切にする子ども
自分の思いが表現できる子ども
「やってみよう」とする子ども
- (7) 保育方針 様々な経験を通して自己を發揮し、毎日が楽しいと感じる保育



日野学園の概要

- (1) 学校名 日野町立日野学園
- (2) 所在地 鳥取県日野郡日野町野田 271
- (3) 開校年月 令和5年4月
- (4) 校種 義務教育学校
- (5) 校訓 向学・友愛・誠実・自主
- (6) 児童生徒数 101名（前期課程70名、後期課程31名）
※令和8年1月1日現在

- (7) 学級数 10学級（うち特別支援学級1学級（前期課程））
- (8) 教育目標 進んで地域と関わるとともに、自他を尊重し、
目標を掲げ生き生きと学び活動する児童生徒の育成

- (9) 学校教育推進の基盤
コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的実施
教育DXの推進



ひのっこ保育所↔日野学園の位置

距離：約1.5km

移動にかかる時間：車 3分
徒歩 20分



Google Maps

2. 日野町保小連携推進計画（改訂版）

日野町における保小連携のあゆみ

- | | |
|-------|--|
| 平成17年 | 黒坂小学校と黒坂保育所とで、「学びの基礎を育むプログラム」策定
ひのっこ保育所開所 |
| 平成23年 | 保育所の所管を健康福祉課から教育委員会事務局教育課に移管
「日野町子ども15年プラン」策定、保小中一貫教育開始 |
| 平成24年 | 日野町保小連携推進計画策定、アプローチ・スタートカリキュラム開始 |
| 平成28年 | 日野町教育振興基本計画（第Ⅱ期）策定 |
| 平成29年 | 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、小学校学習指導要領 改訂 |
| 平成30年 | 日野町保小連携推進計画（改訂版）策定
幼児期の終わりまでに育ってほしい姿の位置付け |
| 令和3年 | 日野町教育振興基本計画（第Ⅲ期）策定 |
| 令和5年 | 義務教育学校「日野学園」開校 |

日野町保小連携推進計画（改訂版）『保小連携プログラム』

日野町保小連携推進計画（改訂版）

保小連携プログラム



『遊びの中の豊かな学び』を『主体的な学び』へとつないでいこう！

平成30年2月

日野町保小中一貫教育推進委員会

目次

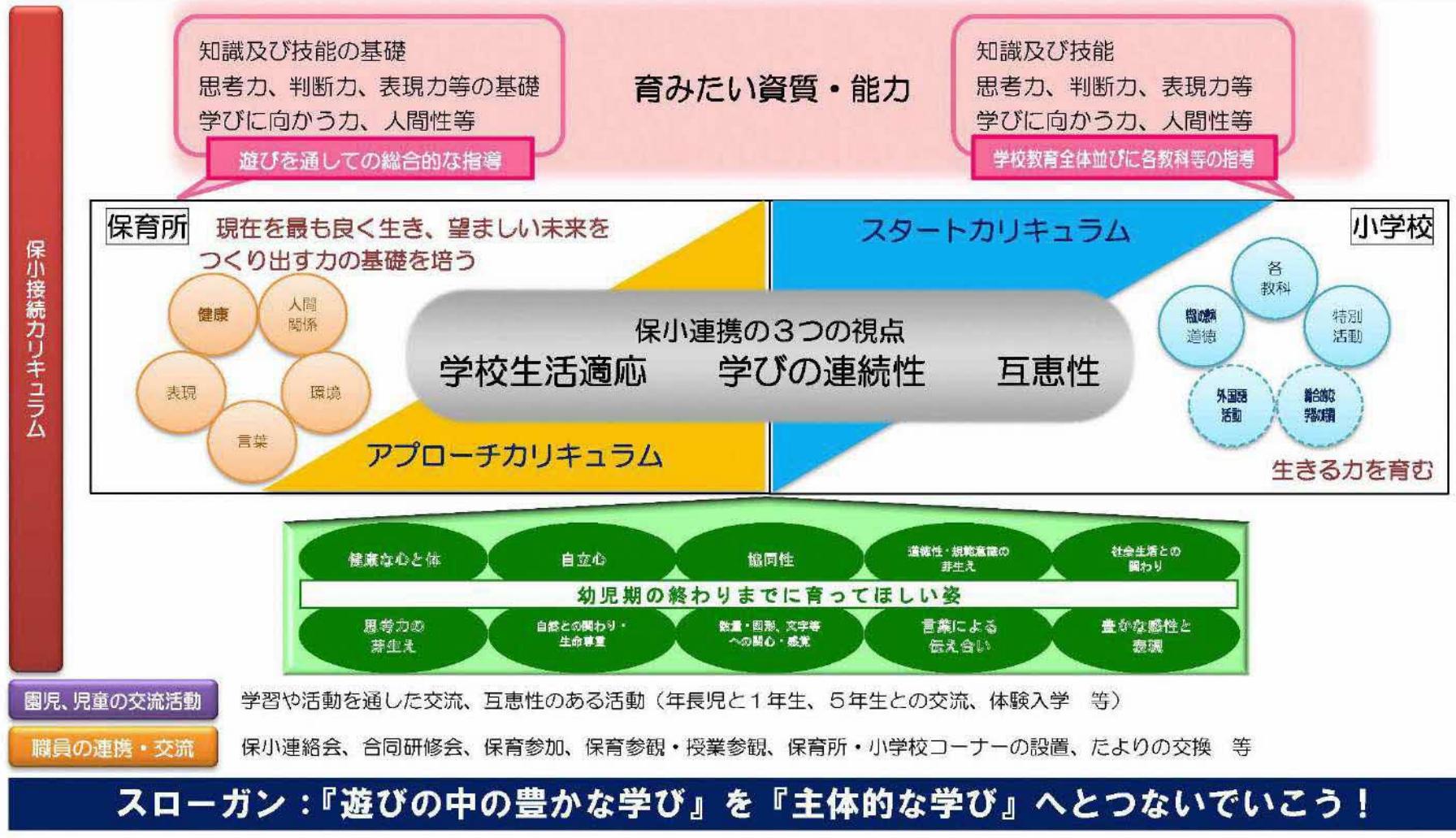
はじめに	2
第Ⅰ章 基本的な考え方	3
1. 幼保小連携の動き	3
2. 日野町での取組	4
3. 日野町保小連携推進計画「保小連携プログラム」	4
第Ⅱ章 日野町学びの基礎を育むプログラム	6
II-1 基本的生活習慣	7
II-2 コミュニケーション力	9
II-3 自尊感情	11
II-4 セルフコントロール力	12
第Ⅲ章 保小連携プログラム	13
1. 保育所と小学校の接続の必要性	13
2. 子どもたちの実態と保小連携	13
3. 育みたい資質・能力と保小の接続	14
4. 幼児期の終わりまでに育てほしい姿の明確化	16
5. 方法と効果	20
6. 保育所、各小学校及び保小中一貫教育推進委員会の役割	20
7. 保小連携プログラムのイメージ図	22
III-1 保小接続カリキュラム	23
1. 幼児期の教育から小学校教育へ	23
2. 保小連携の3つの視点	24
3. 保小接続カリキュラムの定義等	24
(1) アプローチカリキュラムの定義	24
(2) アプローチカリキュラム実施にあたっての留意点	24
(3) スタートカリキュラムの定義	25
(4) スタートカリキュラム実施にあたっての留意点	25
4. 保小連携3つの視点からのアプローチ	26
A. 学校生活適応	26
B. 学びの連續性	29
C. 互恵性	32
5. アプローチカリキュラム	34
(1) 指導計画	34
(2) 実践事例	42
6. スタートカリキュラム	43
(1) 単元等配当表	43
(2) 各教科等単元計画	45
(3) 実践事例	52
III-2 園児、児童の交流活動	54
1. 年長児と小学校1年生の交流活動	54
2. 年長児と小学校5年生の交流活動	55
3. 小学校体験入学	56
4. 交流活動実践事例	57
III-3 職員の連携・交流	61
1. 保小連絡会	61
2. 研修会、交流等	62
III-4 つなぎたい学びのルール	65

<https://www.town.hino.tottori.jp/secure/34229/hosyorenkei.pdf>

7. 保小連携プログラムのイメージ図 教育目標：心豊かに たくましく羽ばたく 日野の子の育成

日野町学びの基礎を育むプログラム 育てたい4つの力

基本的な生活習慣 コミュニケーション力 自尊感情 セルフコントロール力



<https://www.town.hino.tottori.jp/secure/34229/hosyorenkei.pdf>

5. アプローチカリキュラム

(1) 指導計画

1月

活動名	ねらい	10の姿	育て助け	主な内容	環境・構成	連携に向けた保育士の援助 (3つの視点との関連)	関連する行事
自分の身を守ろう	・色々な活動や体験を通して、危険なことから身を守り、安全な行動がとれる。健 ・自分でよいこと悪いことを判断し、危険のないよう行動する。内	ア エ	1, 4	・安全かるたを楽しむ。 ・火災のときの避難の仕方を練習する。	・交通安全かるたをかるた置き場に設置する。	・必要に応じてクラス全体で考え、安全意識を高め自分の身を守るとともに、まわりの安全をも考えて行動できるようにしていく。A C	火災避難訓練
寒さに負けない丈夫な体をつくろう	・寒さに負けず積極的に体を動かし、体力・運動能力を高める。健 環 ・自分の体に関心をもち、健康な生活に必要な習慣や態度を身に付ける。健	ア	1	・戸外遊びや、マラソンを楽しむ。 ・手洗いうがいの練習をする。	・遊戯室や園庭にラインを準備する。 ・「早寝、早起き、朝ご飯、履き物そろえ」の大切さについて話をする。 ・冬の感染症について通知する。	・体を動かす遊びを工夫し楽しさを味わえるような時間設定をする。B ・生活習慣を整え、生活リズムの大切さを分かりやすく伝えていきながら、進んで行う姿はほめてクラス全体に伝えていく。A ・ねらいによるうがいの方法の違いを理解できるように、その都度知らせていく。A	
友達と一緒に正月あそびを楽しもう	・友達の中で自分の思いを主張したり、認め合ったりしながら遊びや活動を発展させる。内 言 ・正月遊びを十分に楽しむ中で、用具を大切にしたり決まりの大切さに気付き守らうとしたりする。内	ウ エ	234	・遊びや活動の中で感想を発表したり相談したり話し合ったりする。 ・正月遊びを楽しむ。	・感想を発表したり、相談したり話し合ったりする場を設定する。 ・大縄跳び、短縄 ・かるた、すごろく、こま、けん玉等正月の遊び道具を準備する。	・一人一人が思いを出し合い、よさを認め合って遊びや活動が進められるよう、必要に応じて助言したりヒントを出したりする。A B ・率先して遊ぶとともに、冬休み中に正月遊びを体験した子供の姿も引き出し、他の子どもへの刺激にしていく。B C	大縄跳び披露 紙芝居 発表会 (個人技) かるた取り会
地域の人と一緒に楽しもう	・地域の様々な人と関わり親しみをもつ。環	オ	2, 3	・高校生との交流を楽しんだり、地域の人から餅つきのやり方を教わったりする。		・子どもの気持ちに共感しつつ、喜びや悲しみを感じる場面やその表現に注意を払い、思いやりの気持ちを育っていく。A	餅つき大会

6. スタートカリキュラム

(1) 単元等配当表

時間	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
8:20~ 9:30 うきうき タイム	あいさつ、健康観察、1日の予定、朝の準備（靴音、ロッカー、机）、学習に入る前の心の準備（チャイム、トイレ） ねらい：担任と心を連携しながら心を落ち着かせ、学級で安心感をもって学習に向かえるようにする。	いちなんせいになっ たよ 1[A] (生1) ・はじめと終わりの あいさつ ・名前を言う ・静かに待つ ・体操服の着替え方	うたでなかよしにな らうコ2 [口] (音1/3) ・歌・手遊び歌・校歌 みんなのせかい ケ1 [国2/3] ・読み聞かせ	うたでなかよしにな らうコ2 [口] (音1/3) ・歌・手遊び歌・校歌 はきはきあいさつ ケ1 2 [国2/3] ・あいさつ ・なそなぞ ・読み聞かせ	うたでなかよしにな らうコ2 [口] (音1/3) ・歌・手遊び歌・校歌 ほんがたくさん ケ2 [国2/3] ・聞き方、話し方 ・手の挙げ方、発表 の仕方
9:35~ 12:30 2~4 放課 休憩を含 み運動的 な使いを する	入学式 (行事1) 8年生とあそぼう オ2 3 [A] [C] (学2/3) いちなんせいになっ たよオ 1 4 [A] (生5/6)	身体測定 ア1 [A] [C] (行事1) うたでなかよしにな らうコ2 [口] (音2/3) ・すきなものなあに ・すきなものを教えてあげる (絵を見ながら発表) ・てるてる坊主作り	せんせいかのね コ3 [A] [C] (国1) ・歌・手遊び歌 みんなのせかい ケ1 2 [国1/3] ・聞き方、話し方 ・手の挙げ方、発表 の仕方	うたでなかよしにな らうコ2 [口] (音1/3) ・歌・手遊び歌 みんなのせかい ケ2 [C] [C] (国2/3) ・名前を書いてみよ う ・自己紹介の練習	なかよくなりたいな らうコ2 [口] (音1/3) ・歌・手遊び歌 みんなのせかい ケ2 [C] [C] (国2/3) ・名前を書いてみよ う ・自己紹介の練習
13:30~ 14:45 掃除 6段階 掃りの 準備 始わり の会	いちなんせいになっ たよオ 1 4 [A] (生2/3) ・廊下の歩き方、整列の仕方 ・靴音、立かけの使い方の確認 ・窓の開閉 ・窓下校のルール ・たのしいきゅうしょ くイウ1 [A] [C] (学) ・上級生の準備を見て 字、音書きの仕方、体 制時間の過ごし方の確認	どっちがあいかな う1 [口] (算1) ・歌・手遊び歌 みんなのせかい ケ1 [国1/3] ・ゲーム	みんなであそぼう アウ1 4 [C] (体1) ・体育館の使い方 ・鬼ごっこ ・ころがしドッジボール	いちなんせいになっ たよオ 1 4 [A] (生2/3) ・歌・手遊び歌 みんなのせかい ケ1 2 [国2/3] ・歌・手遊び歌 たのしいきゅうしょ くイウ1 [A] [C] (学) ・給食の準備・食べ 方・片付け(手伝いあり)	みんなであそぼう アウ1 4 [C] (体1) ・算数セットの使い 方
大切に したい こと	○楽しみながら小学校生活に慣れるような活動を行う。 ・保育所の朝の活動に関連づけて、うきうきタイムを設定する。 (歌や手遊び、ことは遊び、本の読み聞かせなど時間帯で取り組む。)	そうじのしかたをか んがえよう イウ4 [A] (学1/2) いちなんせいになっ たよケヨ [A] (生1/2) ・絵本の読み聞かせ	いちなんせいになっ たよオ 1 4 [A] (生1) ・掃除の仕方を見学 ・トイレ、水道の使い方 ・ロッカーや机の中の整理等	掃りの準備・おわり の会 交通安全教室 エ 4 [A] (行事1) 集団下校	そうじのしかたをか んがえよう イウ4 [A] (学1/2) ・教室掃除の仕方 いちなんせいになっ たよオ 1 4 [A] (生1/2)

時間	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目
8:20~ 9:30 うきうき タイム	うたでなかよしにな らうコ2 [口] (音1/3) ・歌・手遊び歌・校歌 みんなのせかい ケ1 2 [国2/3] ・聞き方、話し方 ・手の挙げ方、発表 の仕方	うたでなかよしにな らうコ2 [口] (音1/3) ・歌・手遊び歌・校歌 ほんがたくさん ケ2 [国2/3] ・ことはあそび ・読み聞かせ	うたでなかよしにな らうコ2 [口] (音1/3) ・歌・手遊び歌・校歌 みんなのせかい ケ1 2 [国2/3] ・聞き方、話し方 ・手の挙げ方、発表 の仕方	うたでなかよしにな らうコ2 [口] (音1/3) ・歌・手遊び歌・校歌 ほんがたくさん ケ2 [国2/3] ・ことはあそび ・読み聞かせ	うたでなかよしにな らうコ2 [口] (音1/3) ・歌・手遊び歌・校歌 みんなのせかい ケ1 2 [国2/3] ・聞き方、話し方 ・手の挙げ方、発表 の仕方
9:35~ 12:30 2~4 放課 休憩を含 み運動的 な使いを する	どっちがあいかな う1 [口] (算1) ・なまづづくり ・かず、ゲーム ・算数セットの使い 方	ねんどであそぼう コ3 [国1) ・ねんどの作り方 ・かずとすうじ ク3 [算1)	かすとすうじ ク3 [算1)	ゆうくであそぼう ア1 4 [C] (体1) ・整列、行進等集団 行動 ・鬼ごっこ ・道具の使い方	かすとすうじ ク3 [算1)
13:30~ 14:45 掃除 6段階 掃りの 準備 始わり の会	がっこうだいすき オ1 2 [A] [C] (生1) ・2年生と一緒に学校 探険	かすとすうじ ク3 [算1)	かたちやいろをため しもラコ3 [国1)	かすとすうじ ク3 [算1)	たのしいがっこう エ1 2 3 [A] (遠1)
大切に したい こと	がっこうだいすき オ1 2 [A] [C] (生1) ・2年生に自己紹介 ・2年生と一緒に学校 探険	じをかこう ク3 [国2/3) ・正しい姿勢 ・鉛筆の持ち方 ・運筆練習	じをかこう ク3 [国2/3) ・正しい姿勢 ・鉛筆の持ち方 ・運筆練習	じをかこう ク3 [国2/3) ・正しい姿勢 ・鉛筆の持ち方 ・運筆練習	じをかこう ク3 [国2/3) ・正しい姿勢 ・鉛筆の持ち方 ・運筆練習
大目に したい こと	うたでなかよしにな らうコ2 [口] (音1/3) ・参観授業	あいえおのうた ケ3 [国2/3)	教室の掃除	教室の掃除	廊下・玄関の掃除
	あいえおのうた ケ3 [国2/3)	あいえおのうた ケ4 [A] (学2/3) ・廊下等の掃除の仕 方	そうじのしかたをか んがえよう イウ4 [A] (学2/3) ・教室掃除の仕方	がっこうだいすき オ1 2 [A] (生1)	あいえおのうた ケ3 [国1)
	掃りの準備・終わり の会	掃りの準備・終わり の会	掃りの準備・終わり の会	掃りの準備・終わり の会	掃りの準備・終わり の会

☆幼稚園の終わりまで育ってほしい姿【健やかと体・A 目立つ・B 開きき・C 運動性・D 挑戦意欲の芽え】・社会生活との繋り・オ
語力の芽え・A 自我との繋り・生きる意欲・キ 教室等への関心・度々・C 言葉による伝え合い・E 喜びの感情と競争・C
☆田町町の基礎を育むプログラム【育てない4つの力】【基本的な生活習慣・1 コミュニケーション力・2 自尊感情・3 セルフコントロール力・4】
☆保小連携3つの視点 【学校生活適応…A 学びの連続性…B 互恵性…C】

(年 月 日 記録者 :)

保小連携推進シート 1	
スタートカリキュラム 実施状況	
入学時の学級の様子	現在の学級の様子
保小接続カリキュラムの 成果	
今後の課題	
今年度の保小連携・ 交流活動の内容	

(年 月 日 記録者 :)

保小連携推進シート 2	
アプローチカリキュラム 実施状況	
重点的に指導してきた内容等	指導の経過
学級としての育ち	
小学校に向けての課題	
今年度の保小連携・ 交流活動の振り返り	

3. 架け橋期のカリキュラムの必要性

《これまでの取組の反省から》

○ひのっこ保育所卒園児のほぼ全員が日野学園に入学

→保育所と学校が連携しやすい。

→カリキュラムの目的である「学びの連續による主体的・対話的で深い学びに向けた資質・能力の育成」をより効果的に実現させることができる。

1. 教育内容の「連續性」の確保

- (1) 教育観の統一: 保育士と教職員が、幼児・児童にとっての「望ましい育ちの姿」や「遊びを通した学びの価値」について、より密接に話し合い、共通の認識を持つ。
- (2) 「教育内容の接続」: 保育所で育まれた幼児の主体性や非認知能力を、入学後の生活や学習指導の中で、意識的に引き継ぎ、さらに伸ばしていくための具体的な計画を立てる。

2. 幼児・児童一人一人の「成長の見通し」の共有

- (1) 個別的な支援: 幼児の発達段階、興味・関心の傾向、配慮を要する点等の情報

を、保育所から学校へ丁寧に引き継ぐことで、入学直後から児童一人一人に合ったきめ細やかな指導や環境整備を行う。

- (2) 「育てたい力」の継承: 保育所での遊びが、学校のどの学びにつながるのかという見通しを共有し、授業で活かす。

3. 「環境のギャップ」の解消

- (1) 生活様式の変化: 保育所の遊び中心の生活から、学校の時間割と集団行動中心の生活への移行は、児童にとって大きな環境の変化であり、ストレスであることを認識する。
- (2) スムーズな適応: このカリキュラムを通じて、教職員は保育所の生活を理解し、入学当初の学習活動に保育所での遊びの要素を取り入れたり、入学前の交流活動を計画的に行ったりすることで、幼児・児童の不安を軽減する。

- ☆架け橋期のカリキュラムは、「幼児・児童がどのように学びを深め、成長していくか」という教育内容の継続のために必要である。
- ☆「幼児・児童がどのように学びを深め、成長していくか」を、保育士と教職員とが議論を重ねることで、実践の深化を図る。

★ 1つの保育所、1つの学校というメリットを活かした取組案

1. 保育士、教職員による合同研修会

- (1) ねらい：幼児教育と学校教育それぞれの教育観、指導法、幼児・児童の発達理解についての相互理解を深める。
- (2) 相互授業参観：教職員が保育所の遊びの様子を、保育士が学校の授業を参観し、指導の違いや幼児・児童の姿を共有する。
- (3) 合同研修：保育士と教職員とが一堂に会して学び合い、共通の教育理念を構築する。

2. 「幼児・児童の育ち」を焦点化した連携

- (1) 目的：入学後の学習や生活の基盤となる、保育所での取組と幼児の育ち及び一人一人の幼児の特性を丁寧に引き継ぐ。
- (2) 「保学連携推進シート」の作成と協議：保育所と入学後の実践の様子、幼児・児童（学級）の育ちについて、保育士と教職員とが直接協議し、それぞれの実践の具体について理解し、以後の指導に役立てる。
- (3) 個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成：保育所が作成する計画について、保育士と教職員とが直接協議する場を設け、幼児・児童の実態や願いを

詳細に共有する。

3. 「共通の遊び場・学びの場」の設定

- (1) 目的: 児童が環境の変化を乗り越え、学校への安心感と期待感を高める。
- (2) 施設の相互活用: 保育所の児童が、学校の体育館、図書館、校庭、学校畠等を、保育活動の中で日常的に利用する。
- (3) 交流学習: 保育所の児童と学校の児童がチームになり、お互いの施設や近隣の自然を利用した共通の遊びや探究活動を、年間を通じて計画的に行う。

4. 1年生とのカリキュラム連携

- (1) 目的: 入学後も、保育所での「遊び」を維持・発展させる。
- (2) 生活科と保育活動の合同実践: 生活科の単元と保育所の活動をリンクさせ、合同で実施する。これにより、教職員は遊びの重要性を再認識し、児童は保育所での活動が学校でも活かされることを実感できる。
- (3) スタートカリキュラム: 入学直後に、保育所で経験した遊びや活動を振り返る時間を意図的に設け、それが学校の学習にどうつながるのか自覚させる。

保学協働によるかけ橋期の教育の充実～かけ橋期のカリキュラムの作成及び評価の工夫によるPDCAサイクルの確立～

以下に記載している内容は、ほぼ「幼保小のかけ橋プログラムの実施に向けての手引き（初版）」より抜粋（一部変更）しています

- ・幼児期は遊びを通して小学校以降の学習の基盤となる芽生えを培う時期であり、小学校においてはその芽生えを更に伸ばしていくことが必要。そのためには、幼児教育と小学校教育を円滑に接続することが重要。
- ・一方、幼児教育と小学校教育は、他の学校段階等間の接続に比して様々な違いを有しており、円滑な接続を図ることは容易でないため、5歳児から小学校1年生の2年間を「かけ橋期」と称して焦点を当て、0歳から18歳までの学びの連続性に配慮しつつ、「かけ橋期」の教育の充実を図り、生涯にわたる学びや生活の基盤をつくることが重要。
- ・かけ橋期の教育を充実するためには、幼保小はもとより、家庭、地域、関係団体、地方自治体等、子どもに関わる全ての関係者が立場を越えて連携・協働することが必要。

かけ橋プログラムの実施にあたり、関係者で共有し大切にしていきたい視点

- かけ橋期を通じて、未来を担う子どもに学びや生活の基盤を育み、持続可能な社会の創り手となることができる力の基礎を育みましょう
- 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」は、かけ橋期はもとより、その前の時期、さらにその後の学びのプロセスの基盤となっていきます
- 全ての子どもの可能性を引き出すため、ウェルビーイングを保障する意識を持ちましょう
- 保学の教育のつながりを意識した活動が、子どもの豊かな体験を生み出し、主体的・対話的で深い学びの実現につながります
- 保育士、教員が、気軽に話し合える関係を構築し、対話を大切にするとともに、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて協働して取り組み、発信しましょう
- 全ての保育士、教員が関わるプロセスや、組織的な体制づくりを大切にし、接続に関する取組を年間計画に位置付け、持続的・発展的な取組を目指しましょう
- 形式的な取組とならないよう、家庭や地域も一緒に、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かりに、子どもの姿を起点に話し合いを深めましょう

かけ橋プログラムのねらい

- 幼児期から児童期の発達を見通しつつ、5歳児のカリキュラムと小学校1年生のカリキュラムを一体的に捉え、地域の幼児教育と学校教育の関係者が連携して、カリキュラム・教育方法の充実・改善にあたることを推進
- 3要領・指針、特に「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の正しい理解を促し、教育方法の改善に生かしていくことができる手立てを普及
- かけ橋期に保育士が行っている環境の構成や子どもへの関わり方に関する工夫を見る化し、家庭や地域にも普及
- 幼児期・かけ橋期の教育の質保障のための枠組みを構築し、データに基づくカリキュラム・教育方法の改善を促進

かけ橋期のカリキュラム開発のイメージ

- ◆開発主体 かけ橋期のカリキュラム開発会議を構成
- ◆開発方法 開発会議において、手引き（初版）や参考資料（初版）を活用しつつ開発。かけ橋期のカリキュラムを踏まえつつ教育課程編成・のカリキュラムを改善
- ◆開発内容 かけ橋期のカリキュラム、かけ橋期のカリキュラムの実施に必要となる研修、教材としての環境の活用等の開発

架け橋期のカリキュラム開発会議

【構成員】

- ・ひのっこ保育所長、担当保育士
- ・日野学園校長、担当教員
- ・教育委員会事務局、健康福祉課
- ・大学教員
- ・ひのっこ保育所保護者会代表、日野学園PTA代表
- ・学校運営協議会会長、家庭支援チーム代表
- ・有識者

【取組内容】

- 幼保小の架け橋プログラムの実施に向けての手引き（初版）、参考資料（初版）を活用しつつ、
- ・架け橋期のカリキュラムの開発
 - ・カリキュラムの実施に必要となる研修、教材としての環境の活用等の開発
 - ・持続的・発展的な架け橋期のカリキュラムに必要な支援

めざす方向性

○架け橋期のカリキュラムについては、保学が協働し、共通の視点を持って教育課程や指導計画等を具体化できるよう、「**幼児期の終わりまでに育ってほしい姿**」を手掛かりとし、育成を目指す資質・能力を視野に入れながら策定できるよう工夫する。そして、**保育士、教員が一緒に振り返って評価し、改善・発展させていく。**

○取組全体を通じて、「**幼児期の終わりまでに育ってほしい姿**」を手掛かりに、所長・校長のリーダーシップと町教委の支援の下、**保育士と教員が、子どもの育ちを中心に据えた対話を通して相互理解・実践**を深めていく。

進め方

進め方は、「幼保小の架け橋プログラムの実施に向けての手引き（初版）」（P15～P20）を参考とする。

- フェーズ1 基盤づくり（令和5年度）
- フェーズ2 検討・開発（令和6年度）
- フェーズ3 実施・検証（令和7年度）
- フェーズ4 改善・発展サイクルの定着（令和8年度）〔日野町教育振興基本計画【第Ⅳ期】開始〕

経費（予算）

- 開発会議委員報酬（令和5年度～令和8年度）
- 研修会講師謝金等（令和5年度～令和8年度）
- 教材開発、環境整備にかかる経費（令和6年度～令和8年度）
- 印刷製本費（令和7年度）

※「架け橋期のカリキュラム開発会議」事業説明資料（令和5年8月作成）

4. 架け橋期のカリキュラム開発の実際

(1) 架け橋期のカリキュラム開発会議での議論

《開発会議委員》

鳥取大学教授（委員長）
元特別支援学校教員
日野学園学校運営協議会会长
日野町家庭教育支援チーム代表
ひのっこ保育所保護者会代表
日野学園PTA代表
日野町健康福祉課保健師
ひのっこ保育所所長
ひのっこ保育所担当保育士
日野学園校長
日野学園担当教員

《アドバイザー》

西部教育局幼児教育担当指導主事
西部教育局保育・幼児教育専門員

《事務局》

日野町教育委員会教育長
日野町教育委員会事務局教育課長
" 担当指導主事
" 保育担当主任

《開発会議の経緯》

年・月	内容
令和5年12月	令和5年度第1回開発会議 ・アプローチカリキュラム、スタートカリキュラムの実施状況、幼児・児童の変容および課題 ・日野町における保小研修の内容、参加状況及び課題 ・目指す方向性
令和6年2月	令和5年度第2回開発会議 ・日野町の育てたい4つの力 ※日野町学びの基礎を育むプログラム
令和6年6月	令和6年度第1回開発会議 ・架け橋期にめざす子ども像と育みたい力 ・保学連携の視点 ・架け橋期のカリキュラム（全体計画）記載事項
令和6年10月	令和6年度第2回開発会議 ・架け橋期のカリキュラム（5歳児）
令和7年2月	令和6年度第3回開発会議 ・架け橋期のカリキュラム（1年生）
令和7年6月	令和7年度第1回開発会議 ・架け橋期のカリキュラム（1年生） ・スタートカリキュラム実施状況と課題等
令和7年10月	令和7年度第2回開発会議 ・スタートカリキュラム単元等配当表 ・架け橋期のカリキュラム（5歳児）実施状況

《架け橋期のカリキュラム》

○期待する（めざす）子ども像 ※日野町学びの基礎を育むプログラム「育てたい4つの力」を踏まえて

- ・心と体がいきいきしている子
- ・自分の思いを表現する子
- ・自分もまわりの人も大切にする子
- ・夢中になってやりきる子

○学びのプロセス

- ・（5歳児）過去の体験やつながり・遊びの中での気づき：今までの体験をきっかけに興味・関心を広げ、いろいろなことに気づき、発見することを楽しむ。また、その気づきから「なんでだろう」という好奇心を育て「知ること」を楽しむ。
- ・（1年生）自覚的な学び：学ぶことへの意欲をもち、各教科の学習内容について授業を通して個別の学習活動や協働的な学習活動をし、学んでいく。

○保育所で展開される保育内容・活動（5歳児）

- ・学校との関連活動を明示

○生活科を中心とした各教科等の単元構成等（1年生）

- ・保育所との関連単元を明示

○指導上の配慮事項

- ・保育士、教師等の関わり

- ・環境の構成、環境づくり

- ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を明示（5歳児）

《スタートカリキュラム》

○架け橋期のカリキュラムが基盤

- ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」をつなぐ。

○期間；保育所から学校へ、幼児・児童の集団がほぼ変わらないことから、10日間のカリキュラムとする。

○この期間に特に大切にしたいこと

- ・楽しみながら学校生活に慣れるような活動を行う。

- ・保育所の朝の活動に関連づけて、うきうきタイムを設定する。

(2) ワーキンググループでの取組

《構成員》

ひのっこ保育所主任保育士
ひのっこ保育所 5歳児担任
日野学園副校長
日野学園第1学年担任

《事務局》

日野町教育委員会事務局担当指導主事

《ワーキンググループの経緯》

開発会議の検討内容等を受け、実際のプログラム作成を行う。

年・月	内容
令和6年7月	令和6年度第1回ワーキンググループ ・ワーキンググループの活動内容
令和6年9月	令和6年度第2回ワーキンググループ ・カリキュラムデザインシート ・架け橋期のカリキュラム（5歳児）
令和7年1月	令和6年度第3回ワーキンググループ ・カリキュラムデザインシート ・架け橋期のカリキュラム（1年生）
令和7年3月	令和6年度第4回ワーキンググループ ・アプローチカリキュラム実施状況
令和7年6月	令和7年度第1回ワーキンググループ ・スタートカリキュラムの実施状況 ・架け橋期のカリキュラム（1年生）
令和7年9月	令和7年度第2回ワーキンググループ ・スタートカリキュラム単元等配当表

(3) 架け橋期のカリキュラムとスタートカリキュラム

架け橋期のカリキュラム		5歳児				日野町	
共通の視点として 考えられる項目	期別(4・5月)	Ⅱ期(6・7・8月)	Ⅲ期(9・10・11・12月)	Ⅳ期(1・2・3月)			
想ぶする子ども像 (めざす子ども像)		○心と体がいきいきしている子	○自分の思いを表現する子	○自分もまわりの人も大切にする子	○夢中になってやりきる子		
育みたい資質・能力	◆実際の社会や生活で生きて働く「知識及び技能の基礎」 ◆未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力などの基礎」 ◆学んだことを人生や社会に生きかうとする「学びに向かう力、人間性など」	◆過去の体験やつながり遊びの中での気付き:今までの体験をきっかけに興味・関心を広げ、いろいろなことに気付き、発見することを楽しむ。また、その気付かから「なんてだろう」という好奇心を育て「知る」ことを楽しむ。 ○体験の中で気付く・分かる。 ○気付きをきっかけにしながら遊びを進める。 ○やりたいことをやり続けることで夢中になる。	○遊びを通じてものの性質や仕組みなどを感じ取る「気づく」。 ○自分と異なる考えに気づき、互いの考え方などを共有する。 ○遊び方を考え、予想する、試す、工夫するなどする。	○経験したことや感じたこと、考えたことなどを表現する。 ○友だちと考えを共有し、共通の目的に向かって取り組む。 ○自分のやりたいことをあきらめずにやり遂げる。			
遊びのプロセス	好きな遊びを見つけ 友だちと一緒に遊ぶ	友だちと思いや考えを出し合いながら 試したり工夫したりしながら遊ぶ	共通の目的に向かって、互いの思いや考えを受け入れながら、自分たちで遊びを進めていく楽しさを味わう	共通の目的に向かって、工夫したり、認め合ったりしながら、協同して遊びを楽しや充実感を味わう			
保育内容・活動 ◆主な活動や遊び ◆1年生との関連	*お手伝い隊、虫探し、草花摘み、野菜の苗植え、異年齢児との散歩や散策 【年長になつよ】年長としての自覚をもち、思いやりをもって年下の子に接したりといっしょに遊んだりする。 【忍者のよう働き回ろ】固定器具や運動道具に興味を持ち、体を動かして遊び、楽しさを味わう。(鉄棒、跳び箱、マット、縄跳び、ゲームボックスなど) 【春の自然を感じよう】自然に興味を持ち、虫を捕ったり、草花を摘んだりして春を感じる。	*泥遊び、色水遊び、水に浮く玩具遊び 【調べられて楽しい】◆ 砂場遊びや色水遊びなどを通して、素材や性質の違いで興味をもつて調べたり、工夫をもって調べたり発見したりすることを楽しむ。 【動物になって水遊びをしよう】プール内をワニ歩きで歩いていたり、潜ったりしながら、友だちと一緒にプール遊びを楽しむ。 【夏の自然を感じよう】◆ 夏の生き物や草花を遊びに取り入れて、遊びを進めしていく楽しさを味わう。 【いろいろな物を作ってみよう】積み木、LaQ、レゴブロックなどで複雑な立体物を作ることに挑戦する。	*運動会、マラソン大会、たのしみ会、クリスマス会 【ダンス・競技をしてよう(運動会)】友だちと一緒にいろいろな競技をする中で、自分の力を發揮し、友だちと考えを出し合い、工夫したり協力したりして遊びを楽ししさを味わう。 【秋の自然に触れよう】◆ 秋の自然を取り入れて、自分の考えを出し合い、工夫したり、協力したりしながら遊びを進め実現していく楽しさを味わう。 【トレーリング遊びをしよう】身につけた言葉を活用して、言葉をつなげる活動を行い、どれくらい続かれるか、言葉をつなげていく楽しさを味わう。 【劇を楽しもう】友達と一緒に繪本や物語などに親しみ、イメージを広げたり、動きや言葉で表現したりすることを楽しむ。 【カードどうう】カードやイラストを活用して、ものの名前や正確な発音に親しむ。かるたやイラスト当てを行い、言葉を身につけていく。	*泥食食当番、うめ組発表会、もちつき会、おわかれ会、卒園式 【お正月遊びに触れよう】お正月遊びのすろくやかるなどのおめでたい意味や出来を知ったり、友達と楽しく遊んだりする。 【冬の自然に触れよう】◆ 冬の自然を取り入れて、自分の考えを出し合い、工夫したり、協力したりしながら、遊びを進め実現していく楽しさを味わう。 【発表会をしよう】自分の得意なことやできるようになったことを発表する。 【手紙を書こう】卒園児と在園児が感謝の気持ちをお互いに伝え合う。自分自身の成長を実感するとともに、お世話になった方々への感謝の気持ちを深める。			
指導上の配慮	●保育士等の開拓 ○環境の構成・環境づくり	●年長としての自覚を持ち、年下の子がしてほしいことを考えながら、意図的に関わろうとする姿を見守り、認めたり、認めたまま、いつしょに遊んでいたりした時には、必要に応じて援助する。 ●約束やルールを確認し、会員を守って安全に遊ぶようにする。 ①砂場遊びや色水遊びを通して、友だち同様で素材や性質の違いを認めたり、工夫をしたりする。 ②子どもたちで興味をもって調べたり、発見したりしたことを活用して遊びを進めようとする場合を大切に、継続づける。 ③子どもたちの行動に従事して取り組めるように道具の種類を準備して場を設けたり、仲立ちをしきが上手にできるようにして取り組むことができるよう見守る。 ④道具や道具の使い方を再確認し、安全に過ごしたり遊べたりするようにする。 ⑤夏野菜の収穫を観察したり、生き物を覗いて見たり触れたたりすることで、植物の成長や生き物の種類や変化などを対する興味を大切にしている。 ⑥運動活動の間わりで興味をもつて関わるようになる。 ○生活習慣や園生活のきまりを見直したり、当番活動の内容について話をしたりし、期待をもって取り組むようになる。 ○歩歩を通して、地元の自然や植物の名前等に興味を向かせるよう図鑑を準備する。	●汗の始末、水分補給などを自分からしようとしている時は見守り、必要に応じて言葉をかける。 ●④形や組み合わせが合うか試したり、考えたり、工夫したりしている姿を認め、その姿(立体的に作るうどう?)子どもたちの気付きや発見を他の子へ広げていく。園 園 ●水の危険性について知らせ、約束を守って安全に遊ぶようになる。 ①砂場遊びや色水遊びを通して、友だち同様で素材や性質の違いを認めさせ、アイデアを出し合われる。園 園 ②子どもたちと一緒に道具や物語を楽しむが、お話をイメージができるような場をつくり、一緒に動きや話すなどの表現する楽しさや、共通の目的に向かって協力しやり遂げる満足感が味わえるようになる。園 園 然 開 ③かよし活動など年長の開拓を通して、年下の子への思いやりの気持ちがもてるようになる。 ②積み木の実や木の蔓を分類し、形や種類の違いに気付けるように声をかけたりする。園 ●言葉がわかるように園庭を準備したり、イラストを掲示したりして物の名前に興味が持てるようになる。園 園 ●夏野菜の収穫を観察したり、生き物を覗いて見たり触れたたりすることで、植物の成長や生き物の種類や変化などを対する興味を大切にしている。 ●運動活動の間わりで興味をもつて関わるようになる。 ○歩歩にループを配置して通ることで、ワニ歩きで歩いたり、象のように跨たりながら、友だちと一緒にプール遊びを楽しむ。園 園 ○夏野菜の栽培を一緒にすることで、生長や「食」に興味がもてるようになる。園 園 ●保育士との連携	●○友だちと一緒に運動遊びを取り組めるような場や道具、用具などを準備し、多様な動きを経験する中での動きを調整できるように配慮する。マラソンでは自分なりの目標を持ち、最後まで諦めずに向かうように働きかけていく。園 園 ●落ち葉やススキ、ならなど秋の自然を取り入れた遊びを相談したり、協力して実現させたりするよう十分な時間を確保する。園 園 ●近い事象や活動と十分に触れて、直接的な体験ができるようになる。 ①砂場遊びや色水遊びを通して、友だち同様で素材や性質の違いを認めさせ、アイデアを出し合われる。園 園 ②子どもたちと一緒に道具や物語を楽しむが、お話をイメージができるような場をつくり、一緒に動きや話すなどの表現する楽しさや、共通の目的に向かって協力しやり遂げる満足感が味わえるようになる。園 園 然 開 ③かよし活動など年長の開拓を通して、年下の子への思いやりの気持ちがもてるようになる。 ②積み木の実や木の蔓を分類し、形や種類の違いに気付けるように声をかけたりする。園 ●言葉がわかるように園庭を準備したり、イラストを掲示したりして物の名前に興味が持てるようになる。園 園 ●夏野菜の収穫を観察したり、生き物を覗いて見たり触れたたりすることで、植物の成長や生き物の種類や変化などを対する興味を大切にしている。 ●運動活動の間わりで興味をもつて関わるようになる。 ○歩歩にループを配置して通ることで、ワニ歩きで歩いたり、象のように跨たりながら、友だちと一緒にプール遊びを楽しむ。園 園 ●カードやイラストを掲示し、物や言葉に興味が持てるようになる。園 ●保育士との連携	●就学への期待と喜びを共有しながら、自分たちで行動しようとする姿を見守っていく。1日の流れを一つ一つ活動時間の始まりを表示することで、見て分かるようになる。子どもが自分で時間に気付き、行動できるようしていく。 ④●園庭への準備や行事や文化について話し合って、協力して実現させたりすることを受け止め、やり遂げられるようになる。 ●友だちと一緒に絵本や物語などを楽しむことで、自然に親しみ、イメージを広げたり、動きや言葉で表現したりすることを楽しむ。 ●自分の得意なことやできるようになったことを、年下の友だちの前で発表することで、やり遂げた満足感が味わえるように、自信に繋げていく。園 園 ○友だちと一緒に今まで経験してきた遊びを思う存分楽しめるように十分な時間を設ける。 ○●伝統的な行事や文化について話をし、伝承遊びを楽しめるようにやり方を教わり、読みます。すろくやカルタなど正月遊びやカード遊びなどを通し、文字や数への間にを深められるようにする。園 ○●水や雪など冬の自然に触れ、子ども達が秋の自然を取り入れた遊びを相談したり、協力して実現させたりできるよう十分な時間を確保する。園 園 ●保育士との連携		
幼児・児童の交流・ 保護者・教職員の交流	5月 評価検討会 5月 青いひや幅版 6月 保育教諭 7月 評価検討会 8月 合宿修習会 8月 保育参加 10月 青いひや収穫 10月 5歳児・1年生交流 11月 授業参観 12月 評価検討会 1月 体験入試説明会/出張面接会 3月 評価検討・引継会						
家庭や地域との連携	-保護者会総会で園の方針や大切にしたいことを伝え、保護者と子どもの育ちを共有していくことで安心感をもつてもらう。 -保育参観やクラス懇談を通して、子どもの様子や架け橋期プログラムの説明をして就学に向けた見通しもつてもらうようになることで就学への期待や不安に寄り添う。						
評価	-新しい環境や「年長」という立場に誇りを感じ、自分なりに安心して好きな遊びに取り組んでいる。 -身近な動物や春の自然に興味を持ち、自分から関わろうとしている。	-色水遊びや泥遊び、水遊びなどを通して、素材の性質に気づき、自分たちで遊び方を工夫しようとしている。 -友達と一緒に遊びを進め、互いのアイデアを出し合ないながら遊びを楽しんでいる。					
10の姿 健康な心と体 直立自立 協調性 道徳性・規範意識の芽生え 団体社会生活との関わり 意思疎通の芽生え 無自然との関わり・生命尊重 図形や図形、標識や文字などへの関心・感覚 言葉による伝え合い 言葉かな感性と表現							
※「幼児期の終わりまでに育ててほしい姿」は、達成させようと強制するものではなく、あくまで「育ててほしい姿」の方向性です。同じ経験をしても、子どもにはそれぞれ個性があるため、育ち方は異なります。そのため、すべての子どもに、必ずしも「10の姿」が共通して見られることはありません。							

スタートカリキュラム

時間	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
8:20 ~ 9:30 うきう きタイ ム		あいさつ、健康観察、1日の予定、朝の準備(靴箱、ロッカー、机)、学習に入る前の心の準備(チヤム、トイレ) イイA ねらい：担任と心を通わせながら心を落ち着かせ、学級で安心感をもって学習に向かえるようにする。 どきどきわくわく1 ねんせい イイA ・はじめと終わ りのあいさつ ・名前を言う ・静かに待つ ・休憩服の着替 え方	生 初等ブロック集 音 国	音 国	音 国
		うじこわくわく1 ねんせい イイA ・はじめて終わ りのあいさつ ・名前を言う ・静かに待つ ・休憩服の着替 え方	生 学 音 国	音 国	音 国
		うたっておどって なかよなうろ う2C ・歌・手遊び歌	体 国	国	国
9:35 ~ 12:20 2校時 ~ 4校時 休憩を 含み彈 力的な 扱いを する	行 行 入学式	がっこうだいす きイイA ・学校の中を探 検し、トイレに 行く。	音 学 音 学 生 学	からだほざしの うどうあそび アワウ4BC ・体育館の使い 方 ・体ほぐし ・鬼ごっこ	音 国 国 国
		きこえるよ ケ1B ・あいさつ ・いすの座り方 ・返事 ・教科書、筆箱の使 い方 ・読み聞かせ	国 行	身体測定 ア1AC	算 体
		どきどきわくわく1 ねんせい オイA ・廊下の歩き方、 整列の仕方 ・靴箱、傘かけの 使い方の確認 ・朝食を食べ よう ・面接の仕方(休 憩時間の過ごし方 の確認)	生 学 生 学 学 学	算 ・数字の歌 ・算数セットの使 い方 ・ゲーム	算 体 算 体 算 体
		續編明治式 ウ2C ・自己紹介 ・フレッシュイシ ヨン ・役割分担決め ・目標決め ・班写真撮影 ・楽しく給食を食 べよう ・面接の仕方(休 憩時間の過ごし方 の確認)	書 書 書 書 書 学	もじをかくせい ク3B ・鉛筆の持ち方 ・字と向き姿勢 ・蓮筆練習	書 書 書 学
		○楽しみながら小学校生活に慣れるような活動を行う。 ・保健所の朝の活動・開園式(うきう)タイムを設定する。 (歌や手遊び、ことば遊び、本の読み聞かせなど時間を帶で取り組む。)		もじをかくせい オイ4A ・掃除の仕方を 見学 ・トイレ、水道の 使い方 ・ロッカーや机 の中の整理等	もじをかくせい ク3B ・鉛筆の持ち方 ・字と向き姿勢 ・蓮筆練習
13:35 ~ 14:55 掃除 5校時 場りの 準備 終わる の会		そうじのしかたを かんがえよう イワ4A ・教室掃除の仕 方 がっこうだいす きケ3A ・絵本の読み聞 かせ ・登下校のルー ル	学 国 生 国 生 国	生 生 生	そうちのしかたを かんがえよう オイ4A ・教室掃除の仕方 ・トイレ、水道の 使い方 ・ロッカーや机 の中の整理等
大切に したい へり					そうちのしかたを かんがえよう オイ4A ・教室掃除の仕方 ・トイレ、水道の 使い方 ・ロッカーや机 の中の整理等

○楽しみながら小学校生活に慣れるような活動を行う。
・保育所の朝の活動に間違づけて、うきうきタイムを設定する。
(歌や手遊び、ことば遊び、本の読み聞かせなど時間を帯を取り組む。)

時間	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目
8:20 ~ 9:30 うきう きタイ ム	あいさつ、今月の歌、健康観察、1日の予定、朝の準備の仕方、学習に入る前の心の準備Ⅰ A ねらい：担任と心を通わせながら心を落ち着かせ、学級で安心感をもって学習に向かえるようにする。 徐々に、朝の会を1年生が進行するようしていく。				
音 国 国	うたっておどって なかよくなろう コ2C ・歌・手遊び歌、 校歌 ほんがたくさん ヶ2B ・こどもあそび ・読み聞かせ	音 国 国	うたっておどって なかよくなろう コ2C ・歌・手遊び歌、 校歌 みんなにはなそ う といよかんのつか いかいた ケ12B ・聞き方、話し 方 ・手の挙げ方、 発表の仕方	音 国 国	うたっておどって なかよくなろう コ2C ・歌・手遊び歌、 校歌 みんなにはなそ う ケ12B ・聞き方、話し 方 ・手の挙げ方、 発表の仕方
国 生 算 算 算	なかよくなりたい なよろしくわくわく1 ねんせい ヶ2A C ・名前を書いて みよう ・自己紹介の練 習	算	わくわくすたあと ク1B ・数字の歌 ・仲間づくり ・数、ゲーム ・算数セットの 使い方	算	すきなものなあ に コ3B ・仲間づくり ・クレヨンの使 い方
9:35 ~ 12:20 2校時 ~ 4校時	からだほぐしのう んこあそびアワ 14 B C ・体育館の使い 方 ・鬼ごっこ ・ダイヤ跳び	生	がっこうだいす き オ12A C ・2年生と一緒に 学校探検	道	わくわくすたあと ク3B ・オリエンテーシ ョン ・覚えているかな 保育所でしたこ と・ゲーム
休憩を 含み彈 力的な 扱いを する	どきどきわくわく 1ねんせい オ14A	生	がっこうだいす き オ12A C ・2年生に自己 紹介	道	がっこうだいす き エ123A ・学校の約束
生 生 学	楽しく給食を食べ よう イウ1A C ・給食の準備・食 べ方・片付け	生 学	たのしくかこう ク3B ・正しい姿勢 ・船筆の持ち方 ・運筆練習	道	たのしくかこう ク3B ・正しい姿勢 ・船筆の持ち方 ・運筆練習
			たのしくかこう ク3B ・正しい姿勢 ・船筆の持ち方 ・運筆練習	道	たのしくかこう ク3B ・正しい姿勢 ・船筆の持ち方 ・運筆練習
給食			たのしくかこう ク3B ・正しい姿勢 ・船筆の持ち方 ・運筆練習	道	たのしくかこう ク3B ・正しい姿勢 ・船筆の持ち方 ・運筆練習
13:35 ~14:55 掃除 5校時 年の 場所 終わり の会	学 生 生	そうじのしかたを かんがえよう イウ4A ・教室掃除の仕 方 どきどきわくわく1 ねんせいオ14 A	学 国 国	はるみつけ オ2A ・はるみつけ ・見つけたものし ょうかい	学 生 生
		あいえおのう た ヶ3B ・ことばあつめ			
大切に したい い	O2週目は1単位時間の教科を15分ごとに内容を区切ったり、児童の実態に応じて連続させたりするなど工夫しながら教 学習に慣れるように実習を進めていく				

☆幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

【健康な心と体…ア 自立心…イ 協同性…ウ 道徳性・規範意識の芽生え…エ 社会生活との関わり…オ】

思考力の芽生え…力 自然との関わり・生命尊重…キ
数量等への関心・感覚…ク 言葉による伝…

☆日野町学びの基礎を育むプログラム「育てたい4つの力」

【基本的な生活習慣…】 コミュニケーション力…2 自尊感情…3 セルフコ